

日本労働年鑑 第58集 1988年版
The Labour Year Book of Japan 1988

特集 「連合」の結成と労働戦線

「連合」の結成と労働戦線

6 中立労連・新産別

2 新産別、八八年解散を決定

新産別は、一〇月二八～二九の両日、東京で第四〇回定期大会を開き、「来年度組織解散」の方針を満場一致で決定した。

新産別は、これまで、「労働界全体の統一を一九八〇年代中に達成することを目標」としてきたが、これを軌道修正したものである。その理由として、河合委員長は、総評が去る七月の大会で「一九九〇年に統一ナショナル・センターをつくり、総評解体」を決めたことなど、「統一への動きが一段と加速されようとしている」「向こう一年間、全的統一の展望を切り開くために全力を傾注しよう」と強調した。

新産別は、加盟五組織のうち、特別現業労組を除いて、民間四単産はすべて連合加盟を決定しているので、連合発足後はその機構も縮小される。

日本労働年鑑 第58集 1988年版

発行 1988年6月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

****年**月**日公開開始

■ ←前のページ 日本労働年鑑 1988年版(第58集)【目次】 次のページ → ■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)